

平成 23 年度学会賞授賞報告

平成 23 年度学会賞は、バイエル学術奨励賞国際交流賞 2 件及び同国際飛躍賞 7 件の応募があり、選奨委員会で慎重審査の結果、以下の研究論文が選ばれました。

バイエル学術奨励賞国際交流賞

『肝細胞特異性 MR 造影剤 Gd-EOB-DTPA (EOB・プリモビスト) の肝細胞への取り込みに関与するトランスポーター』

大西裕満(大阪大学大学院医学系研究科放射線統合医学講座放射線医学講座)

バイエル学術奨励賞国際飛躍賞

『高速スピネコー法をベースとした三次元末梢神経強調画像の開発』

米山正己, 中村理宣, 奥秋知幸, 田渕 隆, 武村 濃, 小原 真, 小倉順子

(八重洲クリニックほか)

『運動に誘発された肩関節ローテーターカフ部の筋機能 MRI』

俵 紀行, 新田 収, 来間弘展, 新津 守, 田村尚之, 高橋英幸, 星川淳人, 中村格子, 奥脇 透, 伊藤彰義 (国立スポーツ科学センターほか)

日本磁気共鳴医学会優秀論文賞

『Multi-shelled q-ball Imaging: Moment-based Orientation Distribution Function 』

梅沢栄三, 吉川真代, 大野香菜, 吉川エミ, 山口弘次郎(藤田保健衛生大学医療科学部ほか)

『Diagnostic Value of SPIO-mediated Breath-hold, Black-blood, Fluid-attenuated, Inversion Recovery (BH-BB-FLAIR) Imaging in Patients with Hepatocellular Carcinomas』

松島正哉, 長縄慎二, 池田 充, 伊藤茂樹, 小川 浩, 駒田智大, 石垣聡子, 川井 恒, 鈴木耕次郎, 佐竹弘子, 岩野信吾(市立四日市病院放射線科ほか)

学術奨励賞

第 39 回日本磁気共鳴医学会大会 (興梠征典大会長: リーガロイヤルホテル小倉) において、学術奨励賞 (大会長賞) を 12 名が受賞した。

なお、学会賞にご協賛いただいたバイエル薬品㈱に厚く御礼申し上げます。

以上

選奨委員長 長縄 慎二